

## 病院からの追加聞取り項目と情報

資料5

2017.7.18

項目	情報
1-1-(2) 救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の「救急搬送患者数の市内公的病院全体の中での当院が占める割合」の21.3%は、市内公的病院（8病院）の中で最も高い数値</li> </ul>
1-1-(3) 高度医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>PET-CT 導入に向けては、知識習得のたね、院内で選任した6名（医師3名、看護師1名、放射線技師2名）が、「日本核医学 PET 研修セミナー」に参加した。</li> </ul>
1-2-(4) 臨床研修医の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡病院の臨床研修医試験の受験者数が、例年20名前後、平成27年度は21名受験であったものが、平成28年度試験では、受験者数が40名であった。</li> </ul>
2-2-(4) 事務部門の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標の「派遣職員から法人職員への切り替え率（事務職）」の未達成分の該当人数は1名。この1名減は、採用後の本人辞退によるもの。              目標 10名/40名（25.0%） → 実績 9名/40名（22.5%）              目標より1名減 平成29年4月現在 31名が市からの派遣職員</li> <li>職員募集周知の新たな試みとして、ラジオ、鉄道、バスの広告等を実施した。</li> <li>病院職員（67人）の「自治体からの派遣職員」と「法人プロパー職員」との割合は、「派遣職員 31人（46.3%）」：「プロパー職員 36人（53.7%）」。</li> <li>自治体からの派遣職員から法人プロパー職員への切り替え状況は、他法人（300床以上の病院）では、プロパー職員の割合は30～50%であり、静岡病院の53.7%は進んでいる。</li> </ul>